

令和 8 年第 8 回金ヶ崎町教育委員会定例会 会 議 録

1 開会、閉会等に関する事項

- (1) 開会 令和 8 年 7 月 2 4 日 (金) 午前 1 0 時
(2) 閉会 同 午前 1 1 時
(3) 場所 庁議室

2 教育長及び出席委員の氏名 (5 名)

職名	氏 名
教育長	千葉 和仁
教育長職務代理者	高橋 玲子
教育委員	八重柏 知史
教育委員	小野 タマ子
教育委員	鈴木 雅司

3 説明等のため出席した職員 (5 名)

所属・職名	氏 名
教育委員会 参事兼教育次長	千田 美和
中央生涯教育センター 所長	及川 勝博
教育委員会事務局 教育次長補佐	渡邊 久美子
教育委員会事務局 教育次長補佐	松本 浩和
教育委員会事務局 係長	榊 由佳里

4 教育長等の報告の要旨

別紙資料のとおり教育長から報告

5 議決事項議題及び議事の概要

- (1) 議案第 1 号 令和 8 年度教育委員会部局職員の人事に関し議決を求める
ことについて

教育長が議事進行を行い、人事案件につき会議を非公開とすることを提案し委員全員から承認され、非公開で行った。

事務局から、別紙資料に基づき説明した。質疑等なく、全員一致で可決。

(2) 議案第2号 金ケ崎町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準を定める
条例の一部を改正する条例

事務局から、別紙資料に基づき説明した。質疑なく、全員一致で可決。

(3) 議案第3号 金ケ崎町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準を定める条例の一部を改正する条例

事務局から、別紙資料に基づき説明した。

高橋職務代理) この条例が変わると、金ケ崎の就学前の子どもがいる家庭にどのような影響があるのか知りたい。

事務局) 小規模保育所は2歳児までのお子さんの受け皿であったが、3歳児になったときに幼稚園や保育園の空きがなく、小規模保育所を卒園した後の受け皿がないという問題が起きている。町の場合、小規模保育所の受け皿は南方幼稚園があるので、今のところ問題はない。19人以下の小規模保育所で3歳児から5歳児までを預かることができるようになるというのが、今回の条例改正の内容になる。

ほかに質疑等なく、全員一致で可決。

(4) 議案第4号 金ケ崎町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

事務局から、別紙資料に基づき説明した。質疑等なく、全員一致で可決。

(5) 議案第5号 令和9年度使用小中学校教科用図書の採択に関し議決を求めることについて

事務局から、別紙資料に基づき説明した。質疑等なく、全員一致で可決。

※採択結果は校長に通知。ホームページ掲載は9月1日以降。

(6) 議案第6号 金ケ崎町立幼稚園再編計画の推進(案)について

事務局から、別紙資料に基づき説明した。

鈴木委員) 六原幼稚園は令和9年度の新入園児の募集を行わないとあるが、例えば、今の4歳児が来年年長さんになったとき、年少で入るお子

さんが兄弟にいないのか。3歳児と5歳児を別々の園に送迎するのも負担だろうし、そうなると、5歳児も一緒に転園する家庭もあるかもしれない。確認したほうがよい。

事務局) きょうだい児の入園希望については、拒めないと思っている。令和9年度末で閉園することがわかっており、年長と年少で一緒に通わせたいという要望があれば受け入れる予定。該当家庭があるかは詳しく確認していないが、1人くらいはいたと思う。

鈴木委員) 六原幼稚園を閉園するということは、教育環境の低下を招くという意見がでたようだ。町の移住定住対策に逆行している印象も受ける。町のホームページを見れば、首都圏からの移住支援事業補助金とか、若年者移住定住促進家賃補助金とか、定住促進住宅取得支援補助金などさまざま支援をしている。これらの支援と幼稚園の再編について、整理しておいた方がいいと思う。

第一小学校の入学式や卒業式に参加する機会がある。昨年度の入学者は30人くらいだった。今年は20人くらい。第一小学区には、湖水パークなどまだ人が多い印象。団地にもまだキャパはある。私自身、再編計画には賛成で、進めるべきであると考えているが、少子化一辺倒ではなく、定住対策の部分と長期的展望をみてすり合わせをして、幼児教育のニーズや少子化対策として何をするかなど、明確に示すべきと考える。住民感情もわかるので、理解を得るのは難しいと思うが、明確に示しながらやっていけばいいのではないかな。

事務局) 幼稚園の再編について、教育委員会は、あくまでも教育的視点で決めたいと考えている。町の考えともすり合わせる必要があるので、総合教育会議で議論できればと考えている。当時は、生涯教育の町として、6つの生活圏を決め、生活圏ごとに町立幼稚園を配置したが、見直しの時期に来ていると考える。

小野委員) 民生委員の懇談会の意見で、六原幼稚園が別の形でとらえられているという印象を受けた。六原幼稚園は、支援が必要な子どもの受け皿ではないし、支援が必要な子どもは通常の子どもたちとの集

団の中で成長できるものとする。子どもは、大人数の中で過ごすことで刺激しあいながら成長するということを民生委員にも理解してもらいたい。支援を要する子どもが園児数の多い幼稚園に入ったら大変だと思っているかもしれないが、多いところに入ってもそれなりに利点はある。受け入れた施設でどう対処するか、その子どもをどうやって伸ばしていくかが大事だと思っていて、支援が必要な子どもは規模が小さいところがいいという考え方は偏っているような印象を受ける。

ほかに、質疑なく、出席委員全員承認で可決された。

6 その他

(1) 今後の予定（教育委員会事務局）

8月25日定例会。

閉会